

Live オンライン開催 (ZOOM)

ストラテジックSCMコース

Strategic SCM Course

後援: 経済産業省・国土交通省(以上2省 申請予定)

戦略的視点で学ぶ「最先端のSCM」

特別講演会・受講説明会 2023年1月23日(月)18:00~21:00 (参加無料)
2023年度春期 2023年4月~2023年9月(全20回)
2023年度秋期 2023年10月~2024年3月(全20回)

●特別講演会・受講説明会はオンライン形式にて開催予定、春期コースは全20回の講義をオンライン形式、修了行事のみ日本ロジスティクスシステム協会会議室(東京)にて開催予定

ストラテジックSCMコースの特徴

- 国内外の第一線で活躍する実務家、コンサルタント、学識経験者による充実した講義
- 戦略的な視点から経営科学的なアプローチも含めた国際的な水準のカリキュラム
- 各期30名の少人数制による密度の高い情報交流とグループディスカッション
- 講師陣、受講者、コースOB・OGによる日本有数のSCM人材ネットワークの形成

ストラテジックSCMコースでは我が国のSCMを担うプロフェッショナルを育成します

カリキュラムの基本的目標: SCM人材の養成

企業が社会的価値と経済的価値の創出のために、経営理念に基づく具体的な製品やサービスを、需要家に対して提供するための戦略を立案し、実行プロセス全体を企画、管理、運営するマネジメントをSCMと考える。

我が国の経営の強みを引き出せる戦略的SCMを実現できる人材の養成

①多様な専門家の講義と演習によるSCMを理解する基礎知識と鳥瞰的な視座の獲得
②受講者同士の交流とグループ演習による多様性の理解と人的ネットワーク構築

① SCMの概念と経営戦略

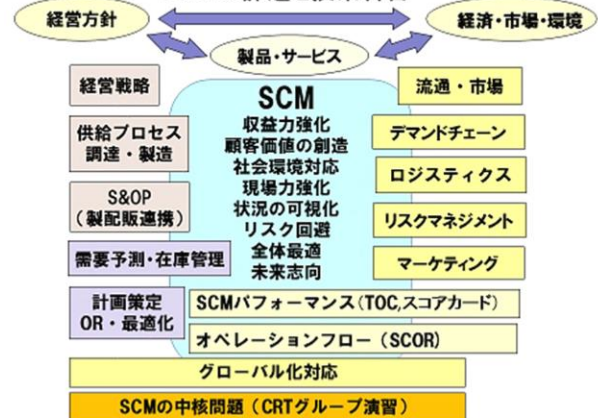
サプライチェーンの実行プロセス
SCMにおける数理技術/ORの活用
流通市場とSCM
グローバル化時代におけるSCMの課題

② 5グループ編成

グループによる課題演習と発表
SFJ活動の活動への参加・講師・修了生との交流
外部学会活動や国際資格等の紹介

時代の要請に則した柔軟で進取なカリキュラムと環境の提供

SCMの課題と授業科目



ストラテジックSCMコース

特別講演会・受講説明会のご案内《参加無料》

●日 時:2023年1月23日(月) 18:00~21:00

●開催方式:オンライン開催(Zoom 使用)

本コースの説明会では、サプライチェーンマネジメント(SCM)業務の最前線でご活躍する方に、ご講演頂いております。この度、特別講演会として、第一部では、日本ロジスティクスシステム協会が主催しているサプライチェーンマネジメント推進会議のメンバーより、活動や研究内容について、ご発表させていただきます。第二部のストラテジック SCM コース受講説明会では、コースコーディネーターが本コースの狙いや内容についてご説明いたします。

ストラテジックSCMコースでは国内外の第一線で活躍する実務家、コンサルタント、学識経験者を講師に迎え、国際的な水準を意識したカリキュラム、少人数制による講義とグループ演習によりSCMのプロフェッショナルを育成しております。本コースの受講をご検討の方や SCMに関する最新動向にご興味がある方は、ぜひご参加ください。

【第一部】特別講演会 18:00~20:00 「テーマ:我が国における SCM 推進に向けた課題」

講演概要:

当協会は、我が国産業界を取り巻く外部環境の変化に対応すべく、SCMの進展課題解決に向けた活動を展開・拡充するという考えのもと、SCMに関する事業活動を展開してきました。2021年度には、SCMの定義づけや提言の策定を行い、SCMに関する諸課題の整理をもとに、それらの課題解決に対応するソリューションの提供および発信を行うことを目指して、「サプライチェーンマネジメント推進会議」を設置しました。その活動の成果として、2022年7月には、『サプライチェーンマネジメント推進に向けた課題2022』を冊子として発行しました。

この度、さらに多くの皆様に冊子の内容を知っていただくと同時に、サプライチェーンマネジメント推進会議メンバーの研究テーマや知見を共有することを目的として、特別講演会を開催いたします。

【プログラム】

◆SCM推進会議メンバーからの個別発表 18:00~19:40 (100分)

1. 『世界標準のSCM』で読み解く循環経済(仮)
オペレーションズ・マネジメント・グループ 代表/APICS認定インストラクター 行本 顕 氏
2. S&OPを支援するシステムと需要予測AI
日本電気株式会社 AI・アナリティクス事業統括部需要予測エヴァンジェリスト 山口 雄大 氏
3. 製品設計が及ぼすサプライチェーンへの影響
富山県立大学 工学部 機械システム工学科 講師 山田 周歩 氏
4. 物流事業者と荷主企業の協働について
株式会社野村総合研究所 産業デジタル企画部 上級コンサルタント 水谷 禎志 氏
5. アカデミアから見た日本のSCM教育(仮)
東京大学大学院 工学系研究科システム創成学専攻 講師 川崎 智也 氏

◆質疑応答とパネルディスカッション 19:40~20:00 (20分)

【第二部】ストラテジックSCMコース受講説明会 20:00~21:00

ストラテジックSCMコースのねらい・概要と特色を中心に、本コースの内容と受講までの流れをご説明します。

説明者:

マネジメント 代表 高井 英造 氏 (ストラテジックSCMコース コースコーディネーター・講師)

三菱石油(株)数理計画部、エネルギー調査部長を経て、静岡大学人文学部経済学科 教授(経営情報論)、多摩大学大学院 客員教授、文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センター 客員研究官等を歴任。日本オペレーションズリサーチ学会フェロー、日本生産性本部 APICS 日本代表部顧問

【個別相談と願書・志望理由書受付】 21:00~

コースコーディネーターが本コースに関する個別相談を行います。
願書・志望理由書の受付もいたします。

講演会・受講説明会(オンライン開催)へのご参加にあたり

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILS オンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」(URL <https://bit.ly/346E1Ag>)と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申込みください。

- 以下の条件を満たしたPC等をご準備ください。
 - ・Zoomクライアントをインストールしていること。
- 本セミナーの受講者は申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加ください。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本セミナーを期間限定で配信します。
- 受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本セミナーの録画、録音、撮影は禁止します。
- 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。

2023年度 春期（第27期） ストラテジックSCMコース開講のご案内

会期:2023年4月7日～2023年9月8日(全20回)

SCMについてのランキングに世界的な調査会社 Gartner が毎年発表する Supply Chain Top 25 があります。これは2010年にはじまったものですが、直近の2021年までその間日本企業の名前は2014年トヨタの24位の1回限りで、改善や現場の見える化で“ものづくり”の工業化社会では世界をリードした日本企業の名前はあがってきません。なぜでしょうか。

今でも日本企業は現場の力は世界一流で地道な改善を積み上げていく一方、海外のライバル企業は、強力な“モノ”から“コト”のビジネス戦略とDX(デジタル・トランスフォーメーション)によるサプライチェーン全体の見える化とSCM理論に基づく価値創造のもとに一気に勝者となる傾向が見られます。この課題を克服するためには、トップマネジメントを巻き込みつつ、部門や組織の壁を越えて大胆な戦略的SCMのプランを立ち上げることが不可欠でしょう。

本講座は、2010年に東京工業大学を中心に集まったSCMの第一線で活躍されている企業の方々や教育・研究者の議論の中から立ち上げられました。そこから今日まで、業種や専門の壁を超えた多様な約500名の修了生を世に送り出し、その同窓生のネットワークも世界に広がっています。この輪自体も本講座の価値を構成する財産です。

現在、新型コロナウイルスが世界中で蔓延し、社会経済に大きな打撃となっています。このような世界を揺るがす緊急事態は、リーマンショックがそうであったように、歴史のプロセスの早送りや変革(例えばGAFAの台頭)をする絶好のチャンスでもあります。そうした機会を捉えて、戦略的なビジネス改革に果敢に取り組もうとする方々は是非、本講座の受講をお勧めします。我々講師陣とともに、改革実現のための具体的な切り口を見出していきましょう。

【コース代表講師】

東京工業大学 名誉教授、職業能力開発総合大学校 名誉教授 圓川 隆夫



2023年度 春期(第27期) ストラテジックSCMコース カリキュラム

講義(20回):金曜日 19:00～21:00 課題研究発表会・修了行事: 最終講義後の土曜日 13:30～18:00

開催形式…「オンライン」:Zoomによる実施 「集合」:日本ロジスティクスシステム協会会議室(東京)での実施

日程・形式	内容	日程・形式	内容
4/7 オンライン	オリエンテーション/SCMの全体像と授業科目	＜サプライチェーンの実行プロセス＞	
＜SCMの概念と経営戦略＞		6/30 オンライン	SCM性能の見える化 ～SCMスコアカードとSCMの課題～
4/14 オンライン	SCMと経営 その1	7/7 オンライン	プロセスモデル(SCOR)による業務プロセス改革
4/21 オンライン	SCMと経営 その2	7/14 オンライン	スケジューリング、サプライチェーン、BOM
4/28 オンライン	経営戦略とビジネス・ロジスティクスの 新たな方向性について	7/21 オンライン	サプライチェーン経営戦略と組織能力
5/12 オンライン	SCM実現を阻む根底問題を探る ～CRTを用いたグループワーク演習～	7/28 オンライン	サプライチェーン計画マネジメントとS&OP
5/19 オンライン	サプライチェーンの複雑性と企業間協働の効果: SCMゲームの体験を通して	＜SCMにおける数理技術/ORの活用＞	
＜流通市場とSCM＞		8/4 オンライン	SCMにおける需要予測・在庫最適化と 生産管理方針
5/26 オンライン	デジタルプラットフォームの進展とバリューチェーンの革新	8/25 オンライン	ORを使った物流最適化モデルと 企業戦略への活用
6/2 オンライン	消費財流通のチャンネル戦略とSCM	9/1 オンライン	SCMにおけるORの活用 ～意思決定を助ける経営科学～
6/9 オンライン	ロジスティクスマネジメントとSCM部門の役割	＜総括＞	
6/16 オンライン	マーケティングとSCM	9/8 オンライン	経営戦略とSCM、SCM改革のための チェンジマネジメント
6/23 オンライン	サプライチェーン可視化とトレーサビリティ	＜課題研究発表会・修了行事＞	
※諸事情により、開催日程・形式やカリキュラム内容が変更となる場合があります。		9/16(土) 集合	課題研究発表会・修了行事

■課題研究について

課題研究として、CRT(現状問題構造ツリー)によって我が国のSCMの問題構造を明らかにするとともに、中核問題についてグループ毎に検討します。その検討結果を課題研究発表会にてご発表いただきます。

講師名	所属・役職	担当講義
圓川 隆夫	東京工業大学 名誉教授、職業能力開発総合大学校 名誉教授	SCMと経営 その1/SCMと経営 その2
高井 英造	マネジエンス 代表	SCMにおける OR の活用
橋本 雅隆	明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授	経営戦略とビジネス・ロジスティクスの新たな方向性について
鈴木 定省	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授	SCM 実現を阻む根底問題を探る/SCM 性能の見える化
河合 亜矢子	学習院大学 経済学部 経営学科 教授	サプライチェーンの複雑性と企業間協働の効果
碓井 誠	(株)オピニオン 代表取締役	デジタルプラットフォームの進展とバリューチェーンの革新
市川 隆一	(株)サプライチェーン経営研究所 代表取締役社長	消費財流通のチャネル戦略と SCM
荒木 協和	SUNSTAR GROUP BUSINESS PARTNER ロジスティクス研究室 室長	ロジスティクスマネジメントと SCM 部門の役割
中村 潤	中央大学 国際経営学部 教授、合同会社 Space4Labo アドバイザー	マーケティングと SCM
森川 健	(株)野村総合研究所 アーバンインノベーションコンサルティング部 プリンシパル	サプライチェーン可視化とトレーサビリティ
中山 健	(株)日立ソリューションズ東日本 シニア SCM アドバイザ	プロセスモデル(SCOR)による業務プロセス改革
佐藤 知一	日揮ホールディングス(株) グループ経営企画部 チーフエンジニア(ビジネス・アナリスト)	スケジューリング、サプライチェーン、BOM
垣見 祐二	スリーゼットコンサルティング 代表、和歌山大学経済学研究所 客員教授	サプライチェーン経営戦略と組織能力
貝原 雅美	SAMIコンサルティング(株) 代表取締役	サプライチェーン計画マネジメントと S&OP
野本 真輔	(株)構造計画研究所 知識デザイン部 技術担当	SCMにおける需要予測・在庫最適化と生産管理方針
伊倉 義郎	(株)サイテック・ジャパン 代表取締役社長、東京工業大学 講師	OR を使った最適化モデルと企業戦略への活用
藤野 直明	(株)野村総合研究所 シニアチーフストラテジスト	経営戦略と SCM、SCM 改革のためのチェンジマネジメント

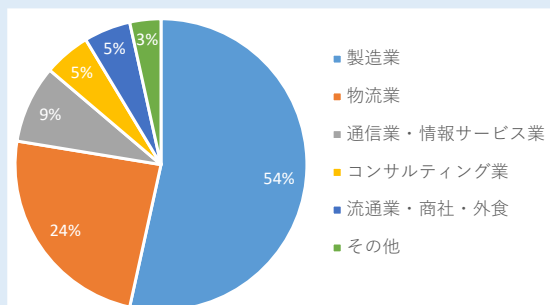
【このような方に受講をお勧めします】

戦略的 SCM の構築や改革は、経営的な視点(総合的、鳥瞰的な視点)をもって、全社的な立場から推進されなければなりません。そのためには経営トップの SCM への積極的な理解と、優れたプロジェクトリーダーの存在が不可欠です。また、情報システムのリーダーが SCM への造詣を深め、システム構築がされることも重要な要素です。

このような観点から、本コースは経営幹部の方々や、経営企画部門のスタッフの方々と共に、全社的な情報システムの企画・構築に当たられる方々にも受講していただきたいと考えています。

また、すでに企業等において、サプライチェーン、物流管理に関する業務の経験を持ち、解決すべき課題や問題意識を持っている経営者や中堅幹部社員の方々、システム部門の方々に参加いただいて、専門的な知識の習得と実務に即した能力を身につけていただきたいと考えています。

【受講者の業種比率(2022 年度)】



【受講者の声】

- 「SCM を志すさまざまな職種の方と、多様な問題意識をぶつけ合い理解を深めることができました」
- 「全体のプロセスを見て問題を認識することが、解決策を生み出し企業の成功へ導くスタート地点だということ、実務経験豊富な講師の授業とグループ課題演習での議論を通して学びました」
- 「SCM の推進に関心を持つ講師やクラスのメンバーと交流でき、コース終了後も繋がるきっかけを作れたことは最大の収穫です」

特別講演会・受講説明会参加申し込み(無料)

■ 特別講演会・受講説明会参加申込 ■

<https://bit.ly/3Gh7kR>



日時・定員・開催形式

日 時: 2023 年 1 月 23 日(月) 18:00~21:00
 定 員: 100 名 参加費: 無料
 開催形式: オンライン開催(Zoom 使用)

■□ 講演会プログラム □■

タイトル:「我が国における SCM 推進に向けた課題」
 発表者: 日本ロジスティクスシステム協会(JILS)
 サプライチェーンマネジメント推進会議
 有志メンバー

ストラテジック SCM コース 受講申込

本コースにお申し込みいただくには、E-mail にて願書・志望理由書をご提出いただけます。願書・志望理由書は、原則として1月 23 日に開催する講演会・受講説明会以後に受付をいたします。お申し込み方法の詳細はホームページの募集要項をご覧ください。

ストラテジック SCM

検索

定員・受講料・開催形式

定 員: 30 名
 受 講 料: 198,000 円/1 名 (税込)(協会会員・会員外共通)
 開催形式: オンライン: Zoom、集合: JILS 会議室(東京)

※諸事情により、開催日程・形式やカリキュラム内容が変更となる場合があります。